



明治廿五年九月五日  
 東京橋區蒲山町四番地  
 合名 村山 東京朝日新聞會社  
 右田富彦

市内赤坂区永代町  
 十七番地  
 三島長三郎様  
 郵

輝盛も月場所相撲十七番目  
 始まるにうねるに当選内人年不足と  
 おそれのみならず山本笑月子其  
 以り、東宮殿下東北所巡廻、  
 随行を事とあり、二ヶ月間の  
 豫定にしてる守とあり、本州ゆき、  
 以て無人に預けられ、是迄の状況も  
 最早、同月と相と交り、例に  
 依り、當分の内、社の方の所へ行は  
 れ、お終るに十六日又十七日、  
 所々勤し、所々全め、  
 所一報にあたり、  
 此れ、右多用のみ、  
 有り、  
 三島先生  
 宛

